

# 令和5年度 島根県畜産技術センターの基本的推進方針

島根県では、「人口減少に打ち勝ち、笑顔で暮らせる島根」をつくるため、「島根創生計画」を制定し、その実行計画として、「島根県農林水産基本計画」を策定しました。

この基本計画において、畜産分野では、「肉用牛の生産拡大」を重点推進事項として積極的に取り組むこととしています。また、酪農については、小規模農場の規模拡大や経営発展を目指しています。

重点的に取り組む「肉用牛の生産拡大」については、担い手を集中的に支援することなどでの肉用牛生産の構造転換、優秀な種雄牛の造成や繁殖雌牛の能力向上、購買者(肥育農家)が求める子牛の管理技術の向上等を進めることとしています。

また、新たな畜産の担い手育成や畜産に携わる技術者の養成も急務となっていることから、後継者や畜産ヘルパー等への研修体制の構築や獣医師を始め、農業普及員や営農指導員の技術者養成への対応も求められています。

畜産技術センターでは、これらの事項を実現につなげるため、肉用牛の改良を推進する新たな技術の開発や普及並びに子牛市場の購買者や消費ニーズに対応するため、商品価値の高い子牛や特徴ある畜産物の生産に向けた技術開発に集中的に取り組めます。

加えて、畜産の担い手への支援や畜産技術者養成に対し、研修施設としての役割を果たしていきます。

## 1 美味しさに関する新たな選抜指標の確立と優秀な種雄牛の造成

- 1) 産肉能力の改良に加えて、牛肉の美味しさに関する能力(小ザシ)の数値化手法の確立に取り組む。
- 2) 受精卵段階で産肉能力等のゲノミック評価が可能となるよう受精卵からDNAを抽出する方法や抽出後の受精卵の保存技術等の開発に取り組む。
- 3) ゲノミック評価や受精卵移植等の先端技術を用いて市場価格をリードできる優秀な種雄牛を効率的に造成する。

## 2 子牛の増産技術の開発と購買者ニーズに応える子牛市場の実現

- 1) 肉用子牛の分娩事故を低減するために妊娠期間等のゲノミック評価技術の開発に取り組む。
- 2) 子牛の育成技術の体系化と、特色ある子牛市場を実現できる独自のPR指標を開発する。
- 3) 肉用牛の繁殖農場におけるGAP(美味しまね)認証の取り組み拡大の手法を構築する。

## 3 自給飼料を活用した担い手酪農経営の低コスト化技術の開発

- 1) 現地とのタイアップによる飼料用トウモロコシの栽培マニュアルの作成と普及定着を図る。
- 2) 自給飼料を活用した低コストな乳用牛の飼養管理技術の確立に取り組む。

## 4 試験研究と普及が一体となった新技術の普及

農業技術センターや各農業(振興)部等と一層連携し、研究成果や関連情報の普及に努めるとともに、経営に有効な技術の定着を進める。

## 5 畜産担い手の支援及び技術者の養成の仕組みづくり

新たな畜産の担い手への研修施設としての役割を担う等の支援、酪農ヘルパー、獣医師、農業普及員、JA営農指導員等の養成や支援に取り組む。